

かすみがうら

第110号
 <毎月1日発行>
 発行所
 霞ヶ浦医療センター
 かすみがうら編集局
 〒300-8585
 土浦市下高津2-7-14
 Tel 029-822-5050
 Fax 029-824-0494
 E-mail & Web Site
 kasumi@kasumi.hosp.go.jp
 http://www.hosp.go.jp/
 ~kasumi/

入院患者さん、花火を楽しむ

患者サービスマス向上委員会 山口 真也

毎年恒例の土浦全国花火競技会が、今年も10月2日(土)に行われました。日頃の私たち職員が行いが良いせい、雨続きだった週末から一転して、当日は久しぶりの晴れ間となりました。通常は当院の屋上は安全対策のため閉鎖されていますが、一昨年から毎年花火の日には入院患者さんに開放することにしています。今年は参加者数が過去最高となり、入院患者さんと付添のご家族併せて約130人の方が花火を見に来られました。



当日、屋上には提灯が飾られ、お祭り気分を盛り上げました。入り口の段差には車イスが通れるように、電気士長の館林さんが手製のスロープを作ってくれました。また患者さんがぶつからないように、障害物のあるところには三角コーンや黄色と黒のシマシマ印がつけられていて、こういうところに用意してくれた庶務の人たちの心配りが感じられます。

さて6時15分になると、西5階病棟から順に、入院患者さんと付添のご家族が次々と屋上に上がってきて、ビニールシートを引いたお座敷はあつという間に満席に。車イスや輸液ポンプや酸素ボンベをつけた患者さんも見えて、皆さん嬉しそうに花火を楽しんでおられます。輸液ポンプのバッテリーが切れてきてピーピーとアラームが鳴っても、ちゃんと電源の延長ケーブルを用意してあるので、大丈夫です。外科の橋本先生と内科の古宮先生はご家族揃って花火をご覧になっていました。

ラジオでは茨城放送の花火実況中継が大音量で流され、一次は



花火工業のスターマイン、星空の彼方へ、曲は「です...」と解説付です。そのおかげで、創作花火の時は、そうかあはカッパ



だったのか、おそれで次はキングドラなのね、と、よりいっそう花火を楽しむことができました。これは参加された患者さんにも大好評でした。

今年も職員のボランティアが20名ほど参加し、スロープでの車イス押しや患者さんの誘導介助を行いました。また毎年恒例となったお茶出しサービスマスも、外来看護師の黒澤師長や岡野さんが中心となつてやっていたいただきました。病院内からかき集めた電気ポットで紅茶と緑茶をいれて、皆さんに配って歩きます。今年は気温が低く風も強かつたため、温かいお茶は大変に喜ばれました。また、恒例の花火をバックの記念写真撮影サービスマスも行われました。花火と人物を同時に撮るのはかなり高等テクニクなのですが、こちらもカメラマンの腕が上がり、今年も失敗写真はありませんでした。あとで焼き増しを差し上げましたら、皆さん喜んでいただけました。

さて、楽しかった花火もあつという間に二時間半が過ぎて、とうとう終わりとなりました。最後まで寒い中を頑張つて花火を見ていた患者さんたちも満足して病棟に戻られ、後片付けをした後は、第二会議室で道路の渋滞がなくなるまでボランティアの打ち上げです。今年もカラオケはしませんでした。病棟幹部からのカンパで大量に買い込んだたこ焼き・焼きそば・お好み焼きでみんなお腹いっぱいになり、楽しく騒ぎました。

今年で三回目となった花火大会の屋上開放は、当院の恒例患者サービスマスとして定着したようです。入院患者さんに喜んでいただけると貴重な機会ですので、これからも



ぜひ末永く続けていきたいものですね。また来年も職員の協力をよろしくお願いいたします。

最後に、患者さんからの感想をいくつか紹介します。

「入院中で精神的に滅入っている時に、いつもとは違う高い場所から花火を見ることができて、気分転換になりました。」

「このよつな形で花火観覧ができるとは思いませんでした。まさかの病気にかかってしまい、長い入院生活でちよつと落ち込んでいました。50年以上生きてきて、初めてこんな立派な花火大会を見ることができました。一日も早く病気を治して、また違う形で見たいと思います。お忙しい中、スタッフの皆様いろいろ気を遣っていただき、感謝いたします。こちらの病院の方々には本当に頭が下がります。どうもありがとうございました。病気に負けず、明日からまた頑張つて治したいと思っております。よろしくお願ひします。」

脳ドック開始のお知らせ

主任放射線技師 山口 幸久

当院では、脳専門の健康診断「脳ドック」を10月1日より実施いたします。

普段から健康に気を使っている方でも、ご自分の脳やその血管の状態を知る手だてや機会はなかなかありません。例えば頭痛やめまいがあつても、脳自体に病気があるためか、それとも他に原因があるためか、それを

知るには医療機関での検査を受ける以外にありません。また、物忘れが多くなつてきたような場合でも、単に年齢的なものなのか、あるいは本当に脳自体に異常があるのかは自分では分からないと思います。特に脳の病気が代表的な脳卒中は、前ぶれも無く突然発症する怖い病気ですが、脳の中の狭くなる血管瘤などを早期に発見する

